

マラウイ国 リロングウェ市 都市計画・開発管理にかかる能力向上プロジェクト

国土交通省および地方自治体等が専門家を派遣する JICA 技術協力プロジェクトとしては、多分野の都市施設にわたる複数の専門家をひとつの都市から派遣する新しい協力体制となる。また、社会・生活環境の厳しいアフリカ地域における都市計画・都市開発分野への政府・行政関係専門家投入は初めての試みである。

マラウイ国は、アフリカ東南内陸部に位置する農業国で、近年人口増加及びその都市流入により、首都リロングウェ市は急速な膨張を続けており、交通渋滞、生活環境等の都市問題が顕在化しつつある。JICA が 2010 年にリロングウェ市都市計画マスタープランの策定を支援し、マラウイ国政府の要請により、日本政府は引き続き、2012 年より都市計画・開発管理人材育成プロジェクトに着手し、JICA 及び国土交通省から要請を受け、公社から専門家を派遣している。

- ・ マラウイ共和国 Republic of Malawi 独立：1964 年（旧英国植民地）
- ・ 面積： 11.8 万 km² 人口：1,500 万人
- ・ GDP（2008 年）：113 億ドル（143 位） 一人当たり GDP：834 ドル
- ・ 首都：リロングウェ市

(1) 期間 平成 24 年 8 月（プロジェクト詳細実施調査）～平成 27 年 3 月

(2) 活動

- ① 都市構造計画の改訂支援・研修
- ② 土地利用詳細計画（モデル地区）1/5,000 - 1/10,000 の策定支援・研修
- ③ 都市開発基準及びガイドラインの作成支援・研修
- ④ 本邦研修「都市計画・開発管理」の実施（神戸市）

(3) 投入（神戸市短期専門家チーム）（案）

- ① 都市経営・開発管理専門家／神戸市チームリーダー
- ② 土地利用・住宅開発専門家
- ③ 交通計画専門家
- ④ 都市施設（上水／排水／廃棄物）専門家
- ⑤ 都市基盤整備（パイロットプロジェクト）専門家

